

令和4年度
大阪ペピイ動物看護専門学校
学校関係者評価報告書

令和5年3月

学校法人宮崎学園
大阪ペピイ動物看護専門学校

令和4年度 学校関係者評価報告書について

大阪ペピイ動物看護専門学校は、本校の教育理念・教育方針や教育活動、学校運営等につきまして学校自己評価を実施し、「令和4年度学校自己評価報告書」を取りまとめて、本校のホームページに公開いたします。

また、この度は本校の教育活動と学校運営等につきまして、獣医療関係者や動物関連分野企業等関係者、保護者、卒業生等の方々のご意見を反映させることを目的に、学校評価委員会を設置し学校関係者評価を実施いたしました。

学校評価委員会におきまして、評価委員の方々には「令和4年度学校自己評価報告書」についてのご意見等をいただき、「令和4年度学校関係者評価報告書」として取りまとめました。

今後は、ご指摘いただきましたところは謙虚に受け止め、より良い教育の場を目指し、教職員一同、改善・向上に尽力してまいります。

関係者の皆様には、今後とも引き続き、ご支援とご指導をお願い申し上げます。

令和5年3月
学校法人 宮崎学園
大阪ペピイ動物看護専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

| 委員氏名 | 所 属 | 備 考 |
|-------|---------------------------------------|----------------|
| 淡路 俊喜 | たんぽぽ動物病院 院長 | 獣医療関係者 |
| 新山 亮 | ごんた動物病院 院長 | 獣医療関係者 |
| 西澤 亮治 | 特定非営利活動法人 動物愛護社会 化推進協会 事務局長 | 関連分野企業等 関係者 |
| 平尾 泰久 | 新日本カレンダー株式会社 常務取締役 | 関連分野企業等 関係者 |
| 吉内 龍策 | 公益社団法人 大阪市獣医師会 監事 南大阪動物医療センター 院長 | 獣医療関係者 |
| 小笹 孝道 | 株式会社十二志会 代表取締役 おざさ動物病院 院長 | 獣医療関係者 |
| 高山 孝博 | 公益社団法人 大阪市獣医師会 会長 たかやまペットクリニック 院長 | 獣医療関係者 |
| 川田 睦 | 公益社団法人 日本動物病院協会 会長 株式会社ネオベッツ 代表取締役 | 獣医療関係者 |
| 上田 晃嗣 | 株式会社ネオベッツ 勤務 | 卒業生 |

学校関係者評価委員会事務局

| 委員氏名 | 所 属 |
|-------|------------------------------------|
| 深田 恒夫 | 大阪ペピイ動物看護専門学校 校長 |
| 宮崎 安弘 | 学校法人宮崎学園 理事長 新日本カレンダー株式会社 代表取締役 |
| 青木 理子 | 大阪ペピイ動物看護専門学校 副校長 |

1. 学校の教育目標

評価者意見等

・①、②、③とも、下臨床現場では重要な項目、目標であると考えます。特に②の人間関係／対飼育者、対院内スタッフ、獣医師、先輩スタッフ、対関係先の企業、組織など、と良好な関係、コミュニケーションを図れるか、が最も必要な資質であると考えます。コミュニケーション力、対応力を育むための授業、実習の実施、レベルの向上をお願いしたいと思います。

※参考 以下、農水省・環境省のホームページで紹介されている愛玩動物看護師の業務内容

「動物の愛護及び適正な飼養に関する業務」

動物の日常の手入れに関する指導・助言（グルーミング、爪切り、歯磨き等）

人と動物の共生に必要な基本的なしつけ（適切な社会化を促す為の教室の開催）

動物介在教育（AAE）への支援（小学校等を訪問し学習活動をサポート）

動物介在活動（AAA）への支援（高齢者施設等でのセラピー活動）

動物飼養困難者（高齢者等）への飼育支援（家庭訪問、電話等で飼育に関する助言）

災害発生時の被災動物適正飼養の為の支援（地方自治体との連携協力）

動物のライフステージに合わせた栄養管理（ペットショップ等での食事相談）など

・国際貢献に関してどのようにお考えですか？

「社会のニーズに応じた地域貢献」社会貢献を前面に出してもよいのでは？

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

評価者意見等

・麻布大学、日本大学など、これまで動物看護学科を持たなかった獣医学部を持つ私立大学が、次々と動物看護学科を併設することになりました。これらの大学は、臨床系教員が充実している、あるいは、充実させようと現在積極的に若手の教官を集めています。

数年後のこれら獣医学部をもつ4年制動物看護学部や学科の教育レベルは飛躍的に高まると思います。

幸いなことに現在のところ近畿圏にそういった施設はありませんが、今後少子化がさらに進んでいくなかで、愛玩動物看護師を目指す学生は、地域を超えて、これら4年制看護に進むことを選択することも

多くなってくると思いますので、3年制専門学校としてより特徴的な学校運営をされていくことが重要と考えま

・①について

教員の方が多忙であること、時間的な制限があること、などから新たな知識、技術を取得する機会も少ないように思いますが、現状はどのような状況でしょうか。コロナの影響から、オンラインでの配信、受講がほとんどになっていますので、活用していただければと思います。

・②について

今秋に予定されているVRセンターの移転に関しては、学校としての影響はどのようなのでしょうか。実習や見学などが少なからず影響が生じるのでしょうか。

PHPの大阪市獣医師会様との連携事業、ロンパールームでの猫の譲渡、の状況は現状どうなっているのでしょうか。子猫に触れ、ケアを体験できる良い機会だと思っておりますが、入ってくる猫の頭数も減少しているようなので。

1年生、だけでなく在校生の離脱、退学、休学などの状況は如何でしょうか愛玩動物看護師法の施行や、入学者定員も希望者200人(?)から、120人に絞って入学、と、これまでとは変化した部分もあるかと思えます。これまで、退学者については“8%”を超えていたと報告されていたように記憶していますが、そのラインは改善できているのか、愛玩動物看護師法は在校生のモチベーションの向上につながっているのか、など教えていただければと思います。

・「新たな魅力作り」具体的な内容が決まっていたら教えてください。

・学生との商品開発は可能？

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標(小項目1-1～1-5)

・3年制となり、カリキュラムの変更など、今後調整、内容についても見直しを図る部分もあるかと思えます。今後の1～3年くらいのスパンで、検証し、レベルアップを図っていただければと思います。

・計算能力(算数)

・会話聞き取り能力(ファシリテーター能力)

・クラフト能力

2 学校運営(小項目2-1～2-14)

評価者意見等

・上記の1. にも関連しますが、動物医療業界は今後色々な部分で変化してくると思われま。飼育頭数の減少(特に犬)、医療費の高額化、雇用形態の多様化、また動物病院の形態も変化(大型の動物病院と、地域のホームドクターの二極化、企業動物病院の増可、など)。それに合わせて、学校も柔軟に対応していく必要があると思ひます

主な進路である“動物病院”と情報の収集、獣医師、動物医療従事者の求めるもの、を的確に把握できるよう

2-13

社会全体がハラスメント(アカハラ、パワハラ、モラハラ)について一層敏感になってきたように思ひます。これまでは問題はないとスルーされてきたことが、大きな問題を含んでいる、大きなダメージに発展する、ことも十分に考えられます。この問題は本人自身が認識していない、わかっていない場合が多いため、トラブルの防止、起こった時の対応、起こさないための工夫、など、教職員の皆さんも再度点検してもらいたく思ひます。

3 教育活動(小項目3-1～3-21)

評価者意見等

・愛玩動物看護師法に関する新しいカリキュラムの導入、準備の状況は如何でしょうか。1. のところで触れましたが、愛玩動物看護師の資格取得が、学生自身のモチベーターになっているのか、知識や技術の向上につながっているのか、もしそうならないなら、改善する方法はあるのか、など、状況を教えていただければとおもひます。

・失敗を経験させる。

・できない物事への取組み方の訓練(個人、集団)

4 学習成果(小項目4-1～4-10)

評価者意見等

4-4で、退学率の低減が図られているか、が挙げられていますが、2の③にも関連すると思ひます。“本人の適性により学校生活になじめずに退学を選択”、との記載がありますが、実際にはどういった状況なのか、退学者の人数、主な原因について教えていただければと思ひます。

4-5、4-8 については、直近1～5年の卒業生については、勤務の状況、給与、などを把握するように、卒業生調査の実施を直ちに実施していただければと思ひます。給与を含めた職務実態を正確に把握することができれば、入学者の募集、高校への案内、またカリキュラムな教育方針などにも反映できる情報が得られると思ひます。ペイ通販と連携しての作業でも良いのではと考えます。

4-2、4-3

実際の就職率、合格率はどのくらい？

4-4

いろいろな学生さんがいると思ひます。サポートの実施とはなにを？

・入学試験に宣誓を追加

5 学習支援(小項目5-1~5-12)

評価者意見等

| |
|--|
| 5-1 3の2、学校運営のところでも触れましたが、動物病院もその規模や業務内容、方針など、変化してきています。学生がその違いを十分に理解して就活できるよう、より詳細な情報を提供してもらえればと思います。現状の平均的な勤続年数のデータは持っておられないかもしれませんが、良い条件・給与・業務内容で長く働けるよう、整備してもらえればと思います。最終的には学生の判断になりますが、正しい判断ができるような情報の提供、指導をお願いします。 |
| 5-5 オンラインでのセミナーがペイ通販も含め、数多く提供されているので、卒業生に対して支援体制を整備し、提供していければと希望します。現状はどうでしょうか？ |
| 5-9 毎年同様のことを記していますが、動物に関するイベントへの参加、動管センターなどでの実習、業務の参加、学外での動物に関する学会、セミナーなどへの参加など、支援体制ができれば良いのではと希望しています。(現状、あるのでしょうか？) |
| ・学生利用率の多いコミュニケーションツールを導入 |

6 教育環境(小項目6-1~6-6)

評価者意見等

| |
|---|
| ・6-6 先述していますが、VRセンターの移転がどう影響してくるのか、また、動物病院での臨床実務の実習はどの程度可能なのか、協力体制は、などお聞きできればと思います。 |
| ・PC、iPad等導入されていましたか？ |

7 学生の受入れ募集(小項目7-1~7-13)

評価者意見等

| |
|---|
| ・この数年、定員以上の希望者を集めておられると聞いていますので、募集の部分については、多くの方の工夫や努力の成果だと思います。半面、4-4で記されている、本人の適性による退学、やその他の離脱者の部分も課題として挙げられていますので、その理由や原因を正確に把握していただき、退学することなく卒業～就業ができるよう、その防止策など教職員の皆さんで検討していただければと思います。 |
| 7-9 教員、講師の経験、教歴は必要でしょうか。適格性とは？ |
| ・強みのある適格性・経験・教歴は紹介 ・愛玩動物看護師を取得するメリットは何を伝えていますか？ |

8 教育の内部質保証(小項目8-1~8-18)

評価者意見等

| |
|---|
| ・課題に「教員として必要なコンピテンスが明確になっておらず～」と「教員として必要な能力は多岐にわたるとともに、必ずしも明確になっていない」と記されておられますが、コンピテンスは、コミュニケーション力や協調性、社会常識、のこともあるので、早く皆さんで確認、点検していただきたく思います。1. の学校の教育目標にも重なる部分かと思えます。 |
| ・カメラを教室に設置し、常時確認できるようにする。 |

9 財務(小項目9-1~9-4)

評価者意見等

| |
|----|
| なし |
|----|

10 社会貢献・地域貢献(小項目10-1~10-3)

評価者意見等

・5 学生支援の9にも記しましたが、動物関連だけでなく、動物関連以外でも、様々な社会活動への参画、ボランティア活動、有償のボランティアも含めて、学校として推奨して頂き、単位の付与についても検討してもらえればと思います。様々な場面で参加が可能な活動があります。

10-1、10-2

本年も大阪城公園でのイベントは中止となります。来年は開催したいと考えています。その時はどうぞよろしくお願い致します。学生さんが頑張っている姿を久しく見れてないのは残念です。

・ボランティア講習の実施